



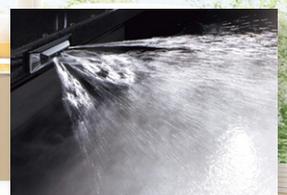
キッチンから、笑顔をつくろう



社会・環境報告書

2017

ダイジェスト



contents

■	トップメッセージ	2
■	経営理念	3
■	会社概要	4
■	経営思想	5
■	組織統治	7
	コーポレート・ガバナンス	
	内部統制/コンプライアンス/リスクマネジメント	
■	労働慣行	9
	働きやすい職場づくり	
	ダイバーシティ	
■	社会的役割	11
	社会貢献活動	
■	公正な事業慣行	13
	資材調達	
■	社会・環境配慮型商品の開発	14
	クリナップのモノづくり	
	業界初のアイデアと技術	
■	環境報告	19
	環境方針/環境保全活動推進体制	
	環境活動	
	環境負荷の低減	
■	トピックス	23

編集方針

2005年に「環境報告書」を発行して以来、記載内容の充実を図ってきました。2017年版ではクリナップの社会的責務を開示するためタイトルを「社会・環境報告書」に変更し、新たに経営思想、組織統治、労働慣行、社会的役割、公正な事業慣行の項目を加えております。本冊子（ダイジェスト版）は、「社会・環境報告書」からステークホルダーの皆さまの関心が高い内容をまとめています。

社会・環境報告書の範囲

報告する対象期間/ 2016年4月1日から2017年3月31日を基本としていますが、一部それ以前のもの、および本書発行直近のものも含んでおります。

報告するデータ/ 2012年度から2016年度までの5年間のデータを基本としていますが、一部該当しないものもあります。

報告する対象組織/ この報告書の対象組織は下記の通りです。

●クリナップ株式会社/ 本社・いわき部門/ 生産工場（四倉工場、鹿島システム工場、鹿島工場、湯本工場）

●関連会社/ クリナップ岡山工業株式会社（岡山工場、津山工場）*/ 株式会社クリナップステンレス加工センター（野田工場、鹿島アート工場）/ クリナップロジスティクス株式会社/ クリナップテクノサービス株式会社/ クリナップハートフル株式会社

※2017年4月1日クリナップ株式会社に吸収合併しています。

参考ガイドライン/ この報告書は環境省「環境報告ガイドライン2012年版」「環境会計ガイドライン2005年版」、社会的責任に関する国際規格「ISO 26000」を参考にしています。

企業理念は「家族の笑顔を創ります」

クリナップの創業は1949年。座卓という家族のだんらんを象徴する製品からはじまりました。創業68周年を迎え、長年にわたり、キッチンをはじめとする水まわり商品をつくり、家族の暮らし方とともにお届けしてきました。そして私たちは企業理念を強く意識し、ここまで成長することができました。

“私たちは何のために存在し、企業活動を続けるのか”。この基本となる考えを表すのが企業理念「家族の笑顔を創ります」であり、クリナップの企業活動のすべてが、この理念の実現に向けられています。

今なおクリナップが存続していただけるのは、社会に生かされ必要とされてきたから。その謙虚さなくして私たちの未来はないと考えています。

この理念のもとでクリナップは社会、環境に配慮した「新しい価値」を持った商品を生み出してきました。2015年5月には「流ルールシンク」を提案しました。これはシンク内の野菜くずを新発想の水路「流ルール」によって排水口まで流す仕組みであり、長い間の主婦の悩みを解決しました。2016年2月には「流ルールシンク」の思想を持った「流ルールボール」を洗面化粧台に採用し、2016年度グッドデザイン賞を受賞しています。システムバスルームでは水で濡れても足が滑りにくい「足ピタ」パターンがIAUDアワード2016を受賞しました。

また、クリナップでは商品づくりの核としてCPS（クリナップ・プロダクション・システム）活動を行い、サプライチェーン全体の効率化を推進しております。

社会貢献活動としては、東日本大震災の福島県内における復興支援の一環として「公益財団法人クリナップ財団」の設立に寄与し、同財団は給付型奨学金制度を設けて福島県の学生を支援しています。また、創業に由来した地である荒川区西日暮里に障がい者雇用の創出の場として「クリ夫のパン屋」を2016年11月にオープンし、地域住民の皆さまに焼きたてのパンを提供しています。

クリナップは事業活動のなかに社会性や文化性をもって、好意を持たれ、常に企業理念を忘れず、自らの家族や社会に誇れる企業をこれからも目指していきます。

昨年までは「環境報告書」として、クリナップの環境に対する取り組みを中心に紹介してきました。創業70周年に向けて、ステークホルダーの皆さまに対してよりクリナップを知っていただくために、環境だけではなく、経営思想や組織統治、労働慣行、社会的役割、公正な事業慣行を加えた「2017社会・環境報告書」としてリニューアルしました。

クリナップの事業活動のなかの社会性や文化性について詳しく紹介していますので、ご一読いただければ幸いです。



代表取締役会長

井上 強 一

経営理念

クリナップは、おかげさまで2017年に創業68周年を迎えました。

2009年の創業60周年に制定した企業理念「家族の笑顔を創ります」を胸に、全社員一人ひとりが変革をはかり、こころを一つにして、クリナップを創造していきます。

創業者理念「五心」

一、創業の心

我々は一家一族の精神に則り喜びも苦しみも頑ち合い永遠に発展する会社をつくらねばならぬ。

一、親愛の心

親愛の心は家庭・企業・社会の基である。人との心の繋がりを大切に、信頼し努力しあって生きよ。

一、創意の心

創意・開発は我が社の生命である。この心を忘れることなく会社の繁栄をはかり社会に貢献せよ。

一、技術の心

新たな市場の創出のため、広く技術を内外に求め集約せよ。そして技術を生む知恵を磨け。

一、使命の心

我が社の使命は社業を通じ社会に奉仕することにある。常に感謝の心を忘れることなく邁進せよ。

企業理念

「家族の笑顔を創ります」

この理念は、クリナップが現在あるいは将来実践する活動の方向性や領域、提供する価値、使命などを凝縮しています。全社員で共有し実践すること。本当の笑顔を創り上げお客さまや家族、そして社会へと拡げていくことを意味します。私たちクリナップは、これまでの「五心」に代表される経営信条等を精神的規範として忘れることなく、持っている力全てを結集し、変革に挑戦し続けます。

創業者理念
「五心」

企業理念
「家族の笑顔を創ります」

行動理念

1. 私たちは、心豊かな食・住文化を創ります
2. 私たちは、公正で誠実な企業活動を貫きます
3. 私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります

ブランドステートメント

「キッチンから、笑顔をつくろう」

事業としては「キッチンダントツNo.1」をめざす
お客様に対しては「キッチンの代名詞」としての評判をつくる

活動方針

ブランドステートメント

「キッチンから、笑顔をつくろう」

クリナップが発信するメッセージは、「キッチンから、笑顔をつくろう」です。このブランドステートメントのもと、キッチン分野で絶対的なポジションを目指します。「キッチンと言えばクリナップ」のブランドイメージをより強固なものにしていきます。

行動理念

- 「私たちは、心豊かな食・住文化を創ります」
- 「私たちは、公正で誠実な企業活動を貫きます」
- 「私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります」

「心豊かな食・住文化を創る」とは、注力すべき事業領域と提供価値を示しています。当社は、従来からキッチンを中心として、事業を営んできました。キッチンは、私たちの生活の中で食と住の交点にあります。おいしいもの、心のもったものをつくり、食べ、そして語らい、すごす。家族が家庭を実感するひとときです。クリナップは、キッチンこそが家庭づくりの核であると考え、笑顔が絶えない家族形成に貢献できる価値の提供に尽力します。

会社概要

クリナップは、1949年、座卓を製造販売する事業から始まりました。以後、キッチンメーカーへの転業をしてから、暮らしの中に新製品を送り出し続け、新しい暮らしを提案し、今では、システムキッチン、システムバスルーム、洗面化粧台等の水まわり住宅設備機器の専門メーカーとして事業活動を行っています。



本社正面

会社概要

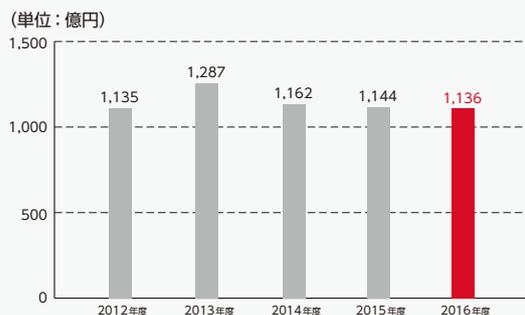
社名	クリナップ株式会社
英文社名	Cleanup Corporation
本社所在地	〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号 電話03-3894-4771(大代表)
創業	1949年10月5日
会社設立	1954年10月5日
上場	1990年2月6日 東証2部上場 1991年9月2日 東証1部指定
資本金	132億6,734万円
決算期	3月(年1回)

業績の推移 売上高、経常利益／売上高経常利益率、当期純利益／売上高当期純利益率、総資産について報告します。

連結：本体●クリナップ株式会社、生産／関連2社●クリナップ岡山工業株式会社^(注)、株式会社クリナップステンレス加工センター、商社／関連1社●井上興産株式会社、運輸／関連1社●クリナップロジスティクス株式会社、取付・設置・サービス／関連1社●クリナップテクノサービス株式会社、人材派遣／関連1社●クリナップキャリアサービス株式会社、障がい者雇用／関連1社●クリナップハートフル株式会社、中国●可麗娜厨衛(上海)有限公司、可麗必斯家具(瀋陽)有限公司

(注) クリナップ岡山工業株式会社は2017年4月1日クリナップ株式会社に吸収合併しています。

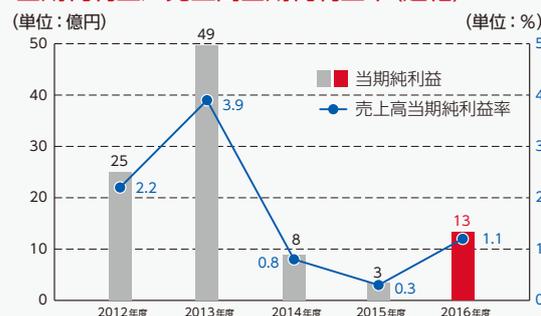
売上高(連結)



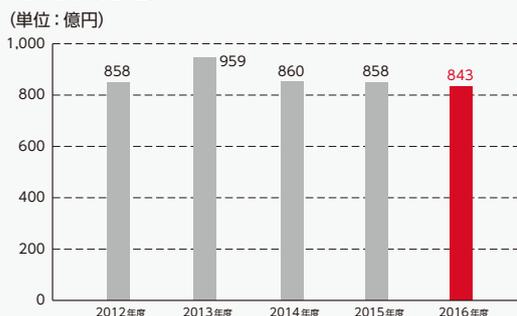
経常利益／売上高経常利益率(連結)



当期純利益／売上高当期純利益率(連結)



総資産(連結)



■ 経営思想

社会との接点(1)

■ 企業理念は「家族の笑顔を創ります」

クリナップの創業は1949年。長年にわたり、キッチンをはじめとする水まわり商品を提供してきました。

“私たちは何のために存在し、企業活動を続けるのか”。この基本となる考えを表すのが企業理念「家族の笑顔を創ります」です。



企業理念である「家族の笑顔」には3つの意味をこめています。ひとつはお客様や社員など“個人の笑顔”、そして私たちが大切にする“家族の笑顔”。もうひとつは家族の集合である“社会の笑顔”です。

クリナップは「個人・家族・社会の笑顔」を増やし、健全な社会づくりに貢献するために企業活動を行っています。

■ クリナップは「社会の公器」

数十年を経て、いまなおクリナップが存続していただけるのは、社会に必要とされ生かされてきたからです。その謙虚な心なくして、将来はないと考えています。

企業だけが栄えるのではなく、社会から必要と認められ、社会も栄える。そうありたいとクリナップは考えています。

■ キッチンの代名詞へ

キッチンは、単に食事をつくる場所や道具ではありません。家族の絆を育み、子どもがおとなへと成長する親子の大切な場、それがキッチンです。

私たちはキッチンの専門家として、誰よりもキッチンの役割の大切さを考え日々研鑽しています。「キッチンといえばクリナップ」。そう思っていただけよう努力し続けます。



■ 食・住文化の交点から

食べる・住まう、つまり食・住の文化の「交点」にあるもの、それがキッチンです。その「交点」から食・住に関わるニーズやトレンドを研究し、商品づくりをしてきました。

これまでもこれからも、色々な人々と交流し社会的、文化的に意義のある領域に活動を広げ事業に活かして参ります。

■ 社会から愛される企業へ

クリナップやシステムキッチンをより知っていただくために、絵本『世界にひとつのキッチン』を発刊しました。お客様がショールームで商品を選び、商品が製造・配送・取付される工程を、子ども目線で描いた絵本です。

各地の小学校や図書館に寄贈し、大変よろこばれました。また、公式キャラクター「クリ夫」は、各地のイベントやショールームで親しまれています。



■ 経営思想

社会との接点 (2)

■ 一個づくりの多品種少量生産「CPS」

クリナップの企業理念を実現する、独自の製造・販売システムが「CPS(Cleanup Production System)」です。大量生産ではなく、一個づくりの多品種少量生産を基本とし、「必要なモノを・必要な時に・必要なだけつくる」ことによって、在庫ゼロ経営を目指しています。このシステムによって、高品質な商品をお手頃な価格で、スピーディーにお客さまにお届けしています。

①営業／開発

全国に展開する営業担当者やショールームアドバイザーによって、お客さまからのニーズや課題が毎日吸い上げられ、開発や製造、取付・設置の各部門にフィードバックされています。

ここで得られた知恵やノウハウ、さまざまな情報は、高度なセキュリティを誇る情報システムに集約され、商品や業務の質の向上に役立てられています。

②製造

お客さまからの注文情報は年間数十万件に及びます。そのすべてが、お客さまごとに発行される「生産指示カード」で把握され“世界にひとつのキッチン”がつくられていきます。

効率的な生産システムのなかであって、人の手による高い技能を必要とする「クラフツマン(熟練工) シップ」が活かされている商品も多く、他社にない独自機能や高い意匠性を実現しています。

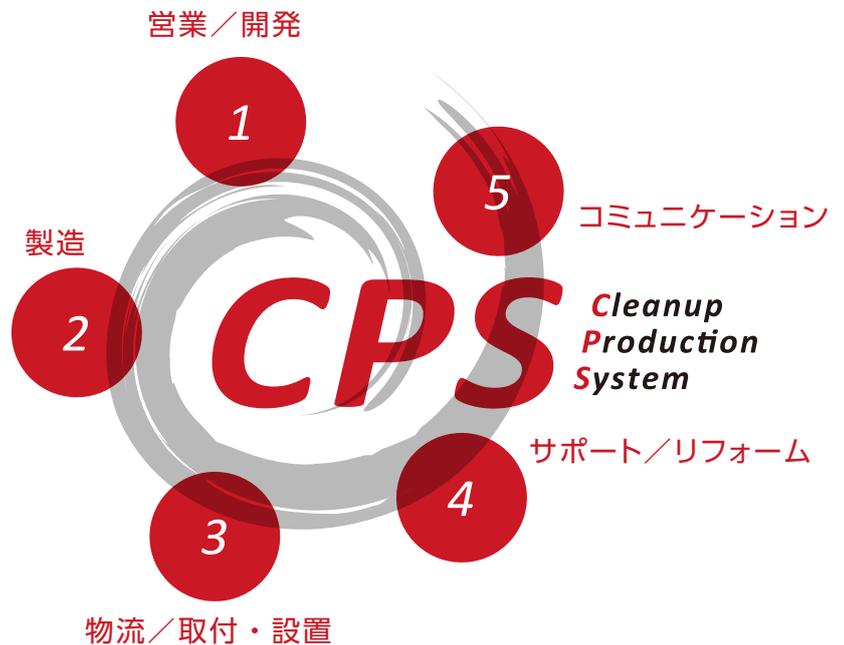
③物流／取付・設置

クリナップグループには、工場で作成した商品をより早く、確実にお客さまのもとへお届けする物流専門会社「クリナップロジスティクス株式会社」と、商品の取付・設置や各種サポート、メンテナンス業務を行う「クリナップテクノサービス株式会社」があります。

ともに「CPS」のなかで顧客満足を実現するための重要な一工程を担います。年間数十万セットにおよぶご注文商品をご希望の納期にお客さまへお届けできるのも、グループ一体で技術品質やサービス向上に努めている結果です。

④サポート／リフォーム ⑤コミュニケーション

キッチンやシステムバスルームは数十年間、家族とともに年を重ねていきます。ガスや電気機器などを常に安全、快適にお使いいただくためには、専門家による点検や迅速な修理・部品供給が不可欠です。近年はリフォームに関する需要も増加傾向に



あり、これらのご要望にも応えられる体制が必要になってきています。

私たちクリナップは、商品をご購入いただいたお客さまとのコミュニケーションを絶やさず、いつでも信頼していただけるサービスのご提供を目指しています。

■ 長期間にわたってお客さまをサポートする「スマイル20」

水まわり設備は、お客さまの喜びや笑顔のある暮らしを支える「道具」です。しかし、道具である以上、日々のお手入れ、定期交換が必要な消耗品の補給、年月を重ねることで劣化してゆく部品の交換などが必要となってきます。

しかし10年後、20年後まで、機能や性能を維持してゆくことは、そう簡単なことではありません。いつ頃、何をすればいいのかわからないこともあるでしょう。

そこでご用意したのが、クリナップ20年サポートプログラム「スマイル20」です。機能・性能を維持してゆくためのメンテナンス情報をご提供するとともに、それに必要なサポート体制を整え、お客さまの「喜び」「笑顔」をお手伝いいたします。



組織統治

コーポレート・ガバナンス

■ コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

クリナップは、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、以下の基本的な考え方に基づき、コーポレート・ガバナンスの充実に継続的に取り組んでいます。

- (1) 株主の権利を尊重し、株主の実質的な平等性の確保に努める。
- (2) ステークホルダーとの適切な協働を図る。
- (3) 会社情報を適切に開示し、透明性を確保する。
- (4) 取締役会による業務執行機能を実効化する。
- (5) 株主との間で建設的な対話を行う。

■ 取締役会の役割・責務

取締役会は、経営方針や経営戦略の重要な意思決定を行う機関であると同時に、取締役の職務の執行を監督する機関として、月1回定期的に、または必要に応じて臨時に開催し、会社の経営に関する重要事項を審議、決議しています。

また、クリナップは執行役員制度を導入し、業務執行機能を執行役員に分離し、取締役会において執行役員の業務執行状況を監督しています。

■ 監査役の設定

当社は取締役の職務の執行を監査する機関として監査役を置いています。監査役は、取締役会、執行役員会等の重要な会議、または委員会に出席するほか、会計監査人、法務・監査部と連携すると共に、監査役会を月1回定期的に、または必要に応じて臨時に開催し、取締役の職務の執行を主として適法性の観点から監査

を実施しています。

なお、当社の会計監査業務は仰星監査法人が実施しており、監査役は、会計監査人連絡会において監査の状況等の説明を受けています。

■ 独立社外取締役および社外監査役の選定

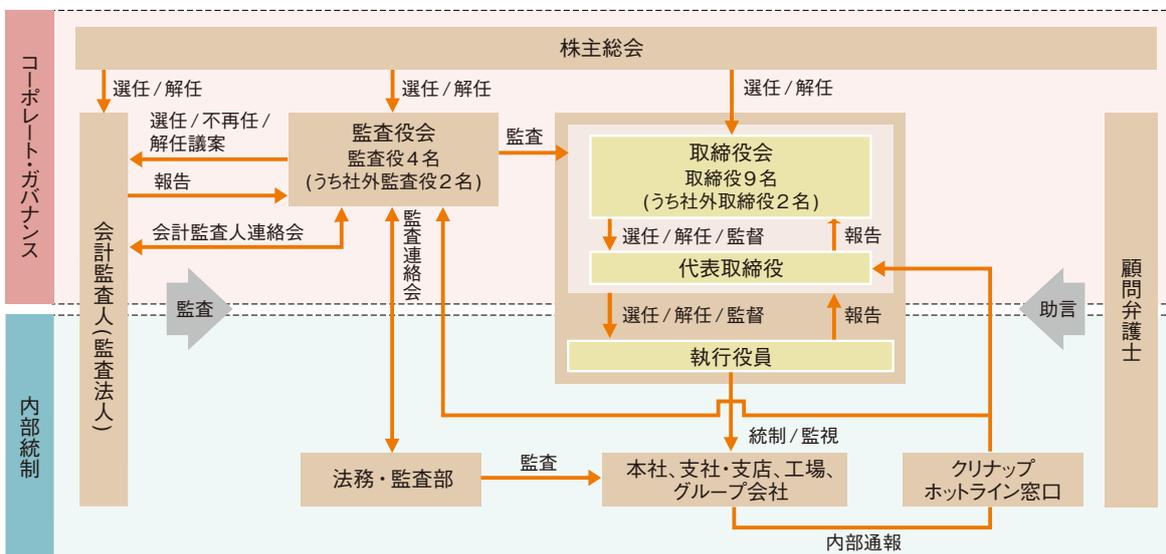
取締役会は9名の取締役（うち社外取締役2名）で構成されています。これは、変化するステークホルダーの期待に迅速に対応し、良好な関係を強化するとともに、豊富な業務経験と当業界について専門的な見識を有した社内取締役と、それぞれの専門分野における豊富な経験と幅広い知見に基づき当社の経営の監督と助言を行う社外取締役が取締役会の構成員となることで、迅速かつ的確に業務執行の意思決定を行い、業務執行の相互監視と、外部からの経営監視を行うことを目的とした現状の体制が当社に最も適していると判断したことによるものです。

また、社外監査役が、客観的かつ中立的な立場で取締役会に出席し、監査を実施しているので、外部による経営監視は十分に機能していると考えています。

■ 反社会的勢力への対応

クリナップは、2010年7月に「内部統制システム整備の基本方針」に「反社会的勢力排除に向けた体制」を追加し、反社会的勢力に対しては毅然とした態度で対応することを定めました。また、当社グループの規程である「行動基準」において、反社会的勢力との係わりを一切持たないことを定め、これを社員に対して周知・教育することで、反社会的勢力の排除に向けた全社的取り組みを行っています。

■ コーポレート・ガバナンス体制図



■ 組織統治

内部統制／コンプライアンス／リスクマネジメント

■ 内部統制システムの整備

クリナップは2006年5月に「内部統制システム整備の基本方針」を取締役会で決議しました。その決議に従い、コンプライアンス、リスク管理および内部統制の強化に向けて体制の整備に努めており、担当取締役および監査役が進捗状況を確認しています。

なお、P7で述べたとおり、2010年に「反社会的勢力排除に向けた体制」を追加し、2015年4月に「子会社の業務の適正を確保するための体制」の追加について取締役会で決議しており、必要に応じて適宜基本方針の見直しを行っています。

■ 内部統制の体制

内部統制の体制については、金融商品取引法による内部統制報告制度の開始に合わせて内部統制委員会を設置しており、全社活動として内部統制の整備および運用課題の改善に取り組むための体制を整備、維持しています。

また、財務報告に係る内部統制システムの整備および運用状況評価については、内部統制委員会の事務局を法務・監査部に置き、重要な事業所を内部監査と重複しないように選定し、評価しています。なお、統制活動に係る監査および評価の結果については、担当間で情報を共有し、内部統制報告制度のもとで一元的に取り扱っています。

■ クリナップの行動規範「行動基準」

当社グループは企業理念に基づき、ステークホルダーの期待を順守するための行動規範として、「行動基準」を2001年4月に制定しました。2006年8月には、「行動基準」の周知徹底を図るため冊子を製作し、「行動基準ハンドブック」として全ての取締役と社員に配付しています。また、当社グループ全社員への継続的な教育として「行動基準ラーニング」を2016年5月から実施し、コンプライアンス意識の向上に取り組んでおります。

内容については、必要に応じて適宜見直しを行っており、社会動向の変化や法令等の改正などを受け、2017年1月に「行動基準」の改正を行っております。



■ お客さま情報の保護

お客さまの情報保護については、特に注意を払っており、個人番号（マイナンバー）、個人情報、プライバシーに関する情報を保護する重要性を認識し、「個人番号および特定個人情報の適切な取り扱いに関する基本方針」および「個人情報保護方針」に従い、適切な管理体制のもとで取得、利用するとともに、紛失、漏えいを防止するための対応を行っています。

■ 内部通報制度「クリナップホットライン」

当社グループは、問題の早期発見と是正に対応するため、「内部通報対応規程」に基づき、通報者の保護を徹底した「クリナップホットライン」を運用しています。当社グループ全社員に周知するため、「クリナップホットライン」への通報に必要な情報、通報手段、通報者の保護等に関する詳細事項を「行動基準ハンドブック」に記載し、全社員に配付しています。

■ リスク管理体制

財務リスクの管理については、財務報告に係る内部統制システムの整備と運用状況の評価結果を取締役会に報告し、内部統制委員会を中心に措置を講じる体制を整備しています。

また、内部監査の指摘事項の管理については、「監査報告書」を作成して担当取締役および監査役に報告するとともに、被監査部門の担当取締役および部門責任者が是正、改善状況を確認し、報告する体制を整備しています。

さらに、製品安全、安全衛生、環境保全、情報セキュリティおよび雇用等の各部門の所管業務に付随するリスクの管理につきましては、担当取締役のもとに管理体制、規程類を整備し、発生の予防および拡大防止に努めるとともに、リスクの発生またはそのおそれがある場合には直ちに代表取締役に報告する体制を整備しています。

子会社については、業務の適正を確保するため「子会社管理規程」その他関連規程に基づき、子会社が当社の取締役会や社長承認を要する事項および報告する事項を定め、連携と統制を行う仕組みを構築しています。

労働慣行

働きやすい職場づくり

■ 新人事制度の考え方

クリナップは、2015年4月に「新人事制度」を公表し、2016年4月から運用を開始しました。

2006年4月に導入した旧人事制度は、年功序列型から役割成果主義型へ移行するもので、会社業績への貢献度に応じた評価・処遇を行うものでした。しかし2011年12月に社員満足度調査を行ったところ、社員の大半は、給与と雇用を確保する「安定」、そして仕事を通じて自己実現する「成長」を求めていることがわかったのです。

クリナップの人事制度の基幹は、役割グレードと職能等級の二本立てですが、その基幹は維持しつつ、社員の“働きがい”と“働きやすさ”を高めるために新人事制度は導入されたのです。

改定されたポイントの多くは評価に関するもので、公正に評価し、評価に基づいて適切に育成していくことを目的としています。そのために今年からeラーニングによる「考課者研修」を導入し、考課に入る前に必ず受講するように義務づけています。

■ 働き方変革会議

長時間労働の是正にも取り組んできました。2015年に「働き方変革会議」を立ち上げました。

この取り組みが始まる前までは、退社時間がきわめて遅い社員が1割程度いました。そこで取り組みのひとつとして受発注のサーバの夜8時半ダウンを開始し、続いて昨年からは夜7時半のパソコンシャットダウンを始めました。

効率的な業務推進に向けた全社活動を今後も継続していきます。

■ コンプライアンス、ハラスメント

クリナップビジネススクールのeラーニングは外部業者が実施するものですが、「クリナップマスターコース」は社内eラーニングです。クリナップ社員の必須知識やコンプライアンスなどの5講座があり、社員の履修を義務づけています。単に学習するだけでなく、テストによって理解度を確認しており、理解が不足していれば再度の履修が必要です。

またクリナップ社員の行動規範については、「行動基準ハンドブック」に網羅されており、コンプライアンス、ダイバーシティ、パワハラやセクハラなどの各種ハラスメントなど細かく指針を示しています。

■ メンタルヘルス

2015年12月にストレスチェック制度が施行されました。クリナップでは、施行前からストレスチェックテストを実施していましたが、制度化したものではなかったため、施行を機に制度化しました。

毎年ストレスチェックテストを実施し、社員のメンタルヘルス不調の予防に努めています。

・人事データ

	2014年度	2015年度	2016年度
従業員数(名)(連結)	3,484	3,528	3,558
平均年齢(歳)	40.6	40.6	40.6
平均勤続年数(年)	14.1	15.0	15.0
新卒採用数(名)	89	119	130



常務執行役員
人事部長 兼
情報システム部
担当
永沼 建二

クリナップは理念を大事にする会社

クリナップは理念を大事にする会社です。なぜ理念を大事にするかというと、理念がないと人は集えず、力を結集することができないからです。

クリナップには人事理念として明文化されたものではありませんが、創業者理念、企業理念、行動理念(p3参照)は明確に規定されています。人材育成はこれらの理念に基づいており、「企業目標に貢献する組織と個人の目標を持ち、各自がより高みを目指し、組織の枠を超えてチーム力を促進させる人材を育成します」という人材育成基本理念があります。

労働慣行

ダイバーシティ

■ 女性活躍推進と管理職登用

クリナップの女性活躍推進への取り組みは、2008年に始まりました。まず、本社から女性社員を委員として選出し、「女性活躍推進委員会」が設置され、課題の洗い出しが行われた後「女性活躍推進室」が組織されました。

「女性活躍推進室」は2009年に「女性活躍推進課」に改称され、翌2010年より、女性管理職の登用を推進してきました。

女性管理職比率は、女性活躍推進法が成立した2015年の末には1.7%、それから1年半が経過した現在は3.7%となり、今後も女性管理職の登用をすすめていきます。

そして、2017年、「女性活躍」から「ダイバーシティ」へと次のステージに入り、活躍推進の対象範囲を拡げていきます。



■ ショールームアドバイザーと育児休暇取得

グループ企業を含まないクリナップ単独の社員のうち、女性は約1/4です。そのうち多くが全国103カ所のショールームに勤務するショールームアドバイザーという職種です。

そこでショールームでのリーダー役の養成に取り組み、仕事への意欲を高める施策に取り組んできました。その結果、ショールーム所長が誕生し、多くのリーダーが育っています。結婚や出産での離職者は減り、キャリア継続を選択し、産休や育休の取得者は増えています。

いったん離職しても5年以内なら正社員として復職できる「カムバック制度」があり、積み上げてきたキャリアを継続していけるように支援しています。

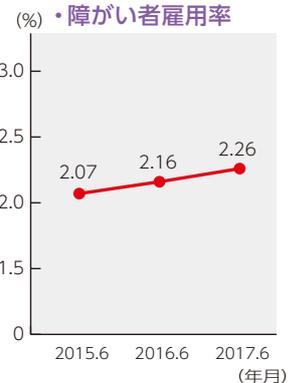
・育児休暇取得者数

年度	2014	2015	2016
育児休業取得者数(名)	41	41	46

■ 障がい者雇用

「クリナップグループの各種CSR活動を象徴する企業として、社会に対し心こもった価値を創造していく」という経営理念を社名に託し、クリナップの特例子会社として、2008年2月に設立したのがクリナップハートフル株式会社です。

障がいのある社員は40名(2017年6月1日現在)おり、社会に「自律」し、地域社会と共に「共生」できる会社を目指し、クリナップグループの施設管理業務や、データ入力、配送作業などの業務に従事し、活動しています。



■ 高齢者雇用

高齢者雇用については、50歳時に「定年前までのライフプラン研修」(生涯経済プランや健康管理プランなど)、56歳時に「定年後までのライフプラン研修」(退職金制度や社会保険の基礎知識など)を休日開催の自由参加として実施しています。

そして59歳時には「再雇用ガイダンス」でクリナップの定年後再雇用制度と募集要項の説明を行っています。

60歳定年に達した後に働きたい人が使えるクリナップの制度はふたつあり、ひとつは定年後再雇用制度です。これはクリナップグループ内で、再雇用希望者は職掌や職群に関係なく、クリナップグループの希望する職場を申し込みます。

もうひとつは社外転身です。クリナップグループ以外に就業機会を求める人のために、再就職支援サービスを行っています。希望者は再就職支援サービスを使って再就職することができます。

ワークスタイル変革を推進し、柔軟な働き方を実現

ワークスタイル変革という言葉がよく使われますが、その意味は「柔軟な働き方の実現」です。クリナップでは時差出勤やフレックス制度が使える職種は、開発職に限られていました。

しかし柔軟な勤務が可能な職種へのワークスタイル変革は前向きに検討すべきだと思います。営業職や女性職種の代表格であるショールームアドバイザーは、お客さまに直面する職種です。どのように実現させていくか、社員にとって、会社にとって大きな変革のチャレンジだと考えています。



人事部
ダイバーシティ
推進課長
村田 真規代

社会的役割

社会貢献活動(1)

■ クリナップ財団と給付型奨学金制度

東日本大震災に被災し、操業停止の危機を体験したクリナップは、地域の方々に助けていただいたことに対する感謝の気持ちを社会に還元するため、東日本大震災の翌2012年12月に福島県内における被災地復興支援の一環として「公益財団法人クリナップ財団」の設立に寄与しました。

同財団の主な事業内容として奨学支援を行っており、福島県出身者で福島県内の大学、高等専門学校などに進学する、学業優秀で向学心旺盛ながら、経済的な理由により修学が困難な学生に対する給付型奨学金制度を設けています。

これまでの支援数は322件にのぼります。



■ レスリング部

クリナップは1992年に「クリナップレスリング部」を創部し、スポーツ振興の一環として企業スポーツの運営に取り組んできました。現在も国内外で注目される選手たちが日々練習に励んでいます。

また小・中学生が対象のクリナップキッズいわきレスリングクラブもあり、2017年3月16日の第21回全国少年少女選抜レスリング選手権大会でクリナップキッズ3名が大健闘しました。



2017年世界選手権(仏 パリ) 鈴木博恵選手

■ 「クリ夫のパン屋」オープン！
障がい者の新たな雇用を創出

クリナップの特例子会社であるクリナップハートフル株式会社は、心豊かな食住文化を創ると共に、新たな障がい者雇用を創出するため、2016年11月1日にベーカリーショップ「クリ夫のパン屋」をオープンし、障がい者が働ける場を設けました。

店舗はクリナップの創業に由来した地(荒川区西日暮里)に新設し、菓子パン、惣菜パン、サンド類等、常時30数種類の商品を店内で焼き上げ、販売しています。

また、創業以来ご支援をいただいている地域住民のみなさまに、焼き立てのパンをご提供しています。



■ 「弁当の日」応援プロジェクト

「食」を通じて、いのちや生活の大切さを学ぶのが「弁当の日」です。「弁当の日」は2001年、香川県の滝宮小学校の竹下和男校長(当時)がはじめました。「お弁当」にかかわる献立作り、買い出し、調理、弁当詰めから、片付けまでを子ども自身が行い、親も、先生もその出来映えを批評も評価もしないという約束です。

“食の大切さ”、“つくる楽しみ”、“感謝の心”を育み、自立を促しながら家族団らんの機会が増える「家族の笑顔」が生まれる取り組みです。2016年12月現在、「弁当の日」実施校は全国で1800校を超えるまでの広がりを見せています。家族の団らんが増え、家庭に笑顔があふれるようになっています。

クリナップは「弁当の日応援プロジェクト」に参加し、2012年から本社隣の荒川区立第六日暮里小学校の取り組みを支援してきました。



社会的役割

社会貢献活動(2)

■ 料理アカデミー

食と住に深く関わるクリナップは、“食の大切さや役割”を生活者の皆さまと共に見つめ直すことが“個人・家族・社会の笑顔”づくりにつながると考え、おいしい暮らし研究所が中心となって、大学の寄付講座として「キッチンから笑顔をつくる料理アカデミー」を企画、提供しました。

文化、健康、食育などをテーマに、講義と料理実習を行い、参加者からは「様々な角度からの講義内容で、学生時代に戻ったような気がしました。中味の濃い、質の高い諸先生方のお話が聴けて、楽しい半年間でした」、「料理だけでなく講義の勉強は久しぶりに新鮮で役に立ち、楽しく思った」などの声が寄せられています。

多彩な講師の方からいただいた貴重なご講義や実習は、「キッチンから笑顔をつくる料理アカデミー web分校」として公開しており、自由に内容を見ることができます。



■ おいしい暮らし研究所

キッチンを通じた、楽しいふれあいの場づくりのために、食や暮らしに関する情報の収集、調査・分析を行っている研究部門が「おいしい暮らし研究所」です。

「キッチン白書2017」では「キッチンのレイアウト」「料理のジャンル」「調理時間」「収納スペースの過不足感」「保有物の断捨離」「鍋の収納場所」「調理や清掃以外で使うもの」などの調査結果をまとめ、webサイトで公開しています。

また「シニアのライフスタイルと暮らしの意識の変化に関する調査」を実施し、男性は「不幸せ」な人ほど、女性は「幸せ」な人ほど料理頻度が高いこと、男女ともに、「幸せ」な人ほど料理のスキルが高いことを「KITCHEN RESEARCH」として公開しています。



■ いわきサンシャインマラソン協賛

福島県いわき市に生産拠点を構える企業として、毎年2月に開催される市民マラソン大会に特別協賛しています。

いわきサンシャインマラソンは、いわき陸上競技場や小名浜港アクアマリンパーク等を舞台に、小学1年生からエントリーできる2kmの親子マラソンから、トップ選手が参加するフルマラソンまでの5種目を揃えた市民大会で、今年は約1万名のランナーが全国から参加し、いわき市内を颯爽と駆け抜けました。

今年で8回目を迎えたいわきサンシャインマラソンは、“日本の復興を「いわき」から”を掲げ、2012年から復興祈念大会として開催されています。

クリナップは、本大会に全国から参加されるランナーの皆さま、復興を待たれる皆さまに、笑顔の輪が広がるよう、心からのエールを送ります。



■ ペットボトルのキャップを再利用する「エコキャップ運動」

クリナップはNPO・エコキャップ推進協会が行っているペットボトルのキャップ回収活動に2009年9月より参加しました。

回収したキャップはリサイクル業者に売却し、その売却益でワクチンを購入して発展途上国の医療支援を行います。

これまでに約500名分のワクチンに相当するエコキャップを回収しました。

また、キャップのリサイクルはCO₂排出量の削減にも有効です。



■ 公正な事業慣行

資材調達

■ 購買基本方針

お客様に満足していただける商品とサービスを提供し続けるため、クリナップでは差別のない自由な競争原理にたち、より良い取引先様と相互理解を深め信頼関係を大切にしていきます。

取引先様の選定は、品質・価格・納期・技術開発力・安定供給力等の総合的な評価と適正な手続きにより行います。

購買基本方針

■ 品質

キッチン・洗面化粧台・システムバスルームを主とする生産活動に於いて、顧客満足の上昇に努めるべく、取引先様にも品質保証体制を確立していただき、品質維持・改善活動を継続的にお願いしております。

■ 価格

お客様が商品価格を評価します。取引先様から提供していただく原材料・加工品は、クリナップ商品価格に大きな影響を及ぼします。市場競争に耐えうる部品価格であることと、継続的なVE活動を互いに努力し達成します。

■ 納期

お客様にご満足していただける納期で商品をお届けできるよう、取引先様の納期対応と安定供給をお願いしております。また、クリナップは原材料・加工品の調達をお客様のニーズに即応できるように、タイムリーで無駄の少ない調達（納期とロット）を基本としております。

■ 環境

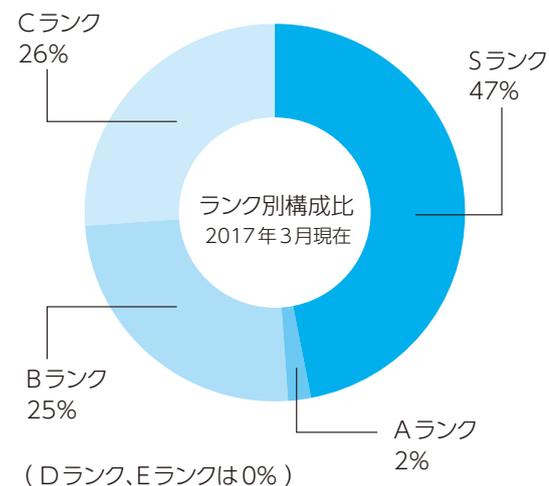
製造メーカーとして環境に配慮した商品作りに取り組み、環境負荷低減を図ることが優先課題であると認識しております。資材調達に於いても優先的に環境負荷の少ない原材料・加工品の調達に努めており、取引先様にも協力をお願いしております。

■ 環境に配慮した資材調達

資材調達では、グリーン調達のアンケート調査を行い、必要な場合は現地調査も行います。環境への取り組み状況、経営者の責任意識を調査して、SからEまでの6ランクに分けています。そして取引先さまをCランク以上に維持できるようD、Eランク企業の格上げ支援活動をしています。

具体的な指標としては各種の認証資格があり、ISO14001の認証取得企業は高く評価しています。このような認証ガイドラインとしてよく知られているものとして環境省が策定した「エコアクション21」があり、この認証を取得した企業も高く評価しています。

・環境取組企業ランク構成比



購買部長
阿部 淳一

「品質」「価格」「納期」×「環境」にプラスの相関関係

クリナップでは、購買基本方針として「品質」「価格」「納期」「環境」の4つを定めています。このうち「品質」「価格」「納期」は生産管理でよく使われるQCDという指標を指すものです。つまりQuality、Cost、Deliveryです。クリナップではQCDに環境(Environment)を加えており、QCDEになります。

調達先企業の選定を行ってきた経験から感じるのは、「品質」「価格」「納期」と「環境」にプラスの相関があることです。つまり品質や生産管理が高いレベルの企業は、環境基準についても適切に運用していると思います。

■ 社会・環境配慮型商品の開発

クリナップのモノづくり

■ クリナップの目指すモノづくり

座卓という家族の団らんを象徴する製品から始まったクリナップは、革新的なアイデアや技術によって生活者の暮らしに寄り添ってきました。

これからもクリナップは“キッチンの専門メーカー”として、キッチンの役割と大切さを考え、「キッチンといえばクリナップ」と思っただけのように努力し続けます。

■ システムキッチンの名付け親

1973年にクリナップは日本ではじめて「システムキッチン」という商品アイデアを生み出し、発売しました。この「システムキッチン」という呼称の名付け親はクリナップでした。



日本初のシステムキッチン

いまでは日本のキッチンを表す普通名詞として一般化しています。

■ 業界初を目指す商品開発

クリナップは業界をリードする多くの商品を生み出してきました。1983年には日本独自の簡易施工型システムキッチン「クリンレディ」を発売。1999年に「フロアコンテナ」搭載のシステムキッチンを発売しました。これは足元のデッドスペースを有効活用し、大容量の料理道具をすっきり収納するもので、業界標準の商品形態になりました。2005年には静かさと清潔を追求した「美・サイレントシンク」を発売。2007年にはレンジフードのフィルターを自動洗浄する「洗エールレンジフード」を発売しました。



初代クリンレディ

2015年にはシンク内のゴミの広がりや汚れを最小限にする「流レールシンク」を発売し、それまでのシンクの常識を一変しました。この技術は2016年発売の洗面化粧台「流レールボール」に使われています。



1999年発売の「フロアコンテナ」搭載のシステムキッチン

■ 機能やデザインを支える素材と加工技術

クリナップ独自の素材と加工技術が、さまざまな商品機能やデザインを支えています。なかでもステンレスの化学発色 (INCO法) による高度な表面処理加工技術により高い意匠性を実現しています。

また、親水性コーティングの技術、浴室や洗面ボールに応用するアクリル系人工大理石の成型技術は高く評価されています。



ステンレス加工・加飾技術

■ ステンレスにこだわる理由

クリナップがキッチンの材料としてステンレスを使う理由は、次のような特長を持っているからです。

- 特長その1** さびにくく、熱や薬品にも強い。
- 特長その2** お手入れ簡単。末永く使える耐久性。
- 特長その3** 有害なホルムアルデヒドが発生しない。
- 特長その4** リサイクル率が80%以上と高く、地球にやさしい。

クリナップの代表的なシステムキッチン、「ステンレス システムキッチンS.S.」や「クリンレディエコキャビ」は、この特長を最大限に活かした製品です。



システムキッチン「クリンレディ」



洗面化粧台「S」

■ ステンレスがさびにくい理由

ステンレスは鉄にクロムなどの金属を混ぜ合わせた合金です。鉄だけでは腐食してしまいますが、ステンレスに含まれているクロムが空気中の酸素と結びついて「不動態被膜」というバリアーをつくれます。

この「不動態被膜」によって塗装などをしなくてもさびにくい強い金属になるのです。また「不動態被膜」は表面が傷ついても自然に再生するので、ステンレスは耐久性が高い素材として評価されています。

社会・環境配慮型商品の開発

業界初のアイデアと技術 (1)

■ 流レール シンク

流レール シンク

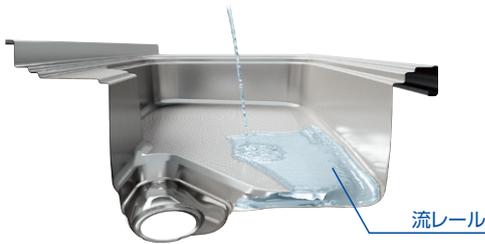
レールがキレイをお手伝い
(特許・意匠出願中)

シンクを流れる水を科学して誕生した“流レールシンク”は、調理中の野菜洗いや、後片付けの食器洗いの水の力で、シンクの中のゴミをどんどん排水口に向けて流してくれる、おどろきの新機能シンクです。

■ シンクのキレイをお手伝い

■ 新発想の「流レール」が生み出す水流

お料理中などに使う水が、ゴミや汚れを手前の「流レール」に集めながら流れます。「流レール」に入ったゴミは水流に押されて排水口に集まる仕組みです。調理中からシンクをキレイに保つ便利な機能です。



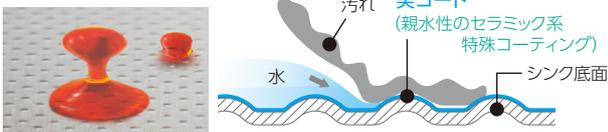
■ 「クリン網カゴ」も、継ぎ目のない一体成形

ゴミを受けとめ、汚れがちな網カゴも、もちろんステンレスの一体成形です。シンクや排水口同様に美コートが施されているので、汚れを落とすやすく、とっても清潔です。



■ 美コート (親水性のセラミック系特殊コーティング)

水に馴染みやすい親水性のセラミック系特殊コーティングが美コートです。汚れの下に水が入り込み、汚れを浮かします。油汚れ、水アカなどの落ちにくい汚れも落とすやすくなりました。



※美コート (親水性のセラミック系特殊コーティング) は当社試験条件で10年相当の耐久性を確認しております。

油汚れの水洗い比較

左: 実際のご家庭でお手入れをせずに1週間使用したクリンプレート

右: 油汚れを水洗いしたクリン網カゴ



シンク全体をカバー

排水口部分まで含めて全面に美コート加工。シンク全体を美しく保ちます。



■ シンクと継ぎ目がないから清潔な排水口

汚れやすい排水口をシンクと一体成形、継ぎ目がないのでお掃除がスムーズです。さらに美コートが汚れをガードします。

■ クリンコーナー (OPTION)

流レールシンクの排水口にジャストフィットするクリンコーナー、ステンレス製+「美コート」で汚れに強く、簡単なお手入れでいつもキレイです。したたり落ちる汚れた水分は、そのまま排水口に入るのでシンクに広がりません。



社会・環境配慮型商品の開発

業界初のアイデアと技術 (2)

洗エール レンジフード

ファンフィルターが自動で

洗エール レンジフード

レンジフードのフィルターの油汚れを落とすのは非常に大変です。洗エールレンジフードなら、ボタン1つでフィルターとファンをまるごと自動洗浄します。お掃除の悩みを解決し、快適なキッチンワークを演出します。

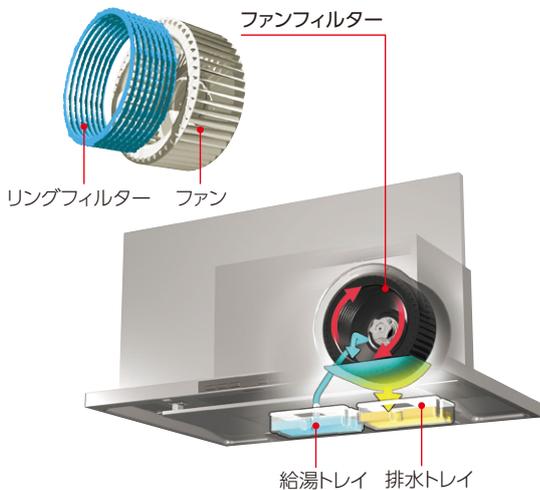


Eco 省エネ・節約・環境配慮などの観点から優れた商品として、クリナップが特にお勧めする推奨機器のマークです。

洗浄機能の進化

■ フィルターとファンをまるごと自動洗浄

フィルターをファンと一体化させた新構造のファンフィルターをお湯で漬け置き洗います。お湯を掻き揚げる動作によって生じる水流を繰り返し衝突させることで汚れを除去します。排水トレイに溜まった排水を捨てます。



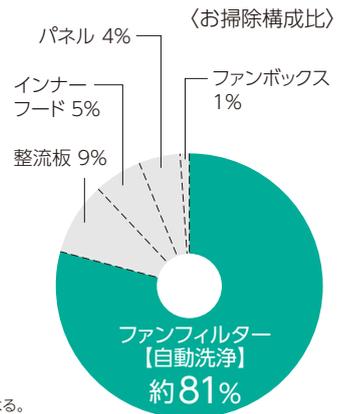
■ 使用水量の比較

洗エールレンジフードの自動洗浄は、“ラクラク” だけではなく、1回の使用水量は、約0.65ℓです。一般的なフィルターの手洗いと比較すると大幅な節水を実現しました。

月1回のお掃除比較	お掃除時間の比較	使用水量の比較
一般的なフィルター	[手洗いの場合] 約50分 / 1回 [Progress bar showing 50 minutes]	[28 bottles of water] 約28ℓ
洗エールレンジフード	[洗エールの場合] 約10分 / 1回 [Progress bar showing 10 minutes] 約40分短縮 ※お客様の作業は給湯・排水処理とボタン操作のみとなります。	約0.65ℓ 毎月約 27ℓ も節水

■ 新構造のファンフィルターでラクラクお掃除

フィルターとファンを一体化させた新構造のファンフィルターを搭載、ファンフィルターはレンジフード内の油煙の流れをスムーズにし、油汚れを効率よく集めます。集めた油汚れは自動洗浄でラクラクお掃除、洗エールレンジフードは、レンジフード内の汚れの約8割*を自動で洗浄できます。 ※メーカー試験条件による。



■ 約10年間、自動で洗エール

給湯トレイにお湯(40~45°C)を入れて本体にセット、洗浄ボタンを押すとファンフィルターに集めた油汚れを自動洗浄します。月1回の洗浄で約10年間ファンフィルターを取り外さずにお掃除が可能です。 ※10年間は、中運転での換気を1日あたり5時間運転させた場合の換気風量から算出した値です。

※当社検証比(月に一度手洗いをした場合と月に一度洗エールレンジフードの自動洗浄を行った場合の実験データ)

社会・環境配慮型商品の開発

業界初のアイデアと技術 (3)

床夏シャワー



浴室への一歩目からあたたかい床夏シャワー

床に向かって一気に噴出するお湯のシャワーが、わずか1分^{*1}で床面の温度を25℃まで上昇させて、浴室を足元からあたためます。



操作はカンタン。入浴前に脱衣所で、スイッチを押すだけ。

浴室内の空気も同時にあたためる

床にまかれたシャワーのお湯が蒸気となって浴室全体に充満して、浴室内もあたためます。寒い時期の入浴事故原因のひとつであるヒートショック^{*2}の心配も低減します。

^{*2}暖かい部屋から急に、寒い浴室や脱衣室に入ること、血圧の急激な変化と心拍数の増加を伴い、立ちくらみや転倒、溺死に至るケースもあります。



^{*1} 床夏シャワーの1分について

床夏シャワーのスイッチを押し、配管の残り水を排水後、水がお湯になってからシャワーの放水時間が1分です。配管の残り水の排水時間はご家庭の給湯器の設置条件により異なります。
^{*}外気温10℃、1坪用1616型の条件で試験を実施、当社商品での試験データです(当社調べ/2015年10月)。ご使用の環境、状況により上記の測定値とは異なる場合があります。

足ピタフロア



濡れていてもすべりにくい「足ピタ」パターン

浴室の床は濡れており、すべりやすいものです。とくに高齢者は転倒に気を付けなくてはなりません。そんな心配を解決したのが、クリナップの「足ピタフロア」です。

床表面の微細な凹凸が、濡れていても足裏に密着します。すべりにくく、足裏で床をつかむことができます。この機能は、特殊なパターン加工により実現しました。



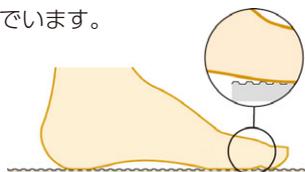
独自の素材や微細な凹凸で、足裏を床に密着させます

すべりにくさの理由は、接触面積と表面張力

足ピタフロアがすべりにくい理由は、特殊なパターンの効果です。足裏と床の接触面積を拡大してホールド性を高めています。また床表面の微細な凹凸による水の表面張力の働きで、足裏を引き寄せ、すべり止め効果を生んでいます。

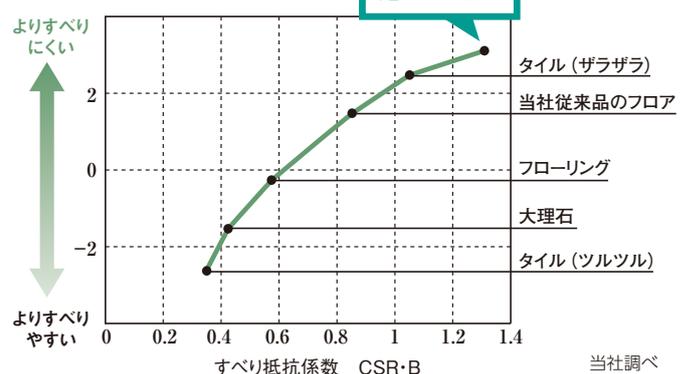


フロア拡大写真



溝の深さが従来の1/3(当社比)しかないので、床はほぼフラット、足裏の接触面積が広がります

・すべり評価尺度表



社会・環境配慮型商品の開発

業界初のアイデアと技術 (4)

流レールボール

レールがキレイをお手伝い

流レール

ボール

(特許出願中)



レールがキレイをお手伝い

流レール

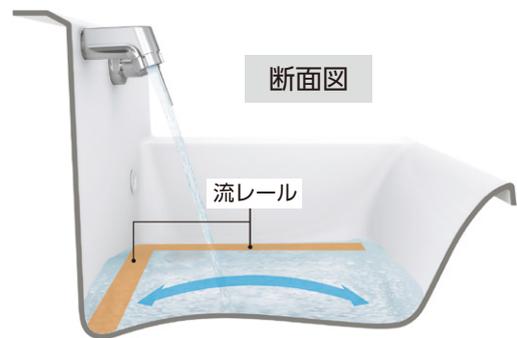
LL

(特許出願中)



洗面ボール中央を高くする逆転の発想

ボール周囲の「流レール」が髪の毛や泡を集めて排水口に導きます。さらに中央を高くするという逆転の発想で「流レール」への水の流れをつくりボール全体を汚れにくくします。



比べると一目瞭然

NEW



流レールボールは、ボールの全体に水が行き届き、「流レール」に髪の毛や泡を集めて排水口へ導きます。

従来



従来のボールは、手前や隅に水が行き届かず、髪の毛や泡が残ります。

「流レール」という独自のアイデア

システムキッチンに搭載し好評の「流レールシンク」のアイデアを採用した、新発想の洗面ボールが「流レールボール」です。

手洗いや洗顔などの日常的に使用する水で汚れを流し、次に使う人も気持ちよく使えるのが特長です。一般的なボールは底面に落ちた水が広がらずに排水口へと流れるすり鉢形状になっているため、水の届かない外周部分、特に人に近い手前側に汚れが残ってしまっていました。

「流レールボール」は今までにない凸型の底面形状が、水を底面全体に広げることで汚れを流すことができる洗面ボールです。普段使う水を利用することで、意識をしなくても洗面ボールをキレイな状態に保つことができるため、次に使う人も快適に使うことができます。底面に残った髪の毛や泡が残らないことで更なる汚れを抑制でき、結果としてお手入れの手間も軽減しています。

人工大理石を採用

ボールの材質は人工大理石を採用し、意匠性を向上しました。硬いものを落としても割れにくい素材です。

■ 環境報告

環境方針／環境保全活動推進体制

■ 基本的な考え方

クリナップでは企業理念「家族の笑顔を創ります」のもと地球環境との共生を図りながら、持続可能な社会の実現のために、CO₂排出量や廃棄物の削減、化学物質による汚染対策、環境配慮型商品の開発など課題を挙げて環境活動に取り組んでいます。

すべての生産工場においてISO14001の認証を取得して、環境マネジメントシステムを構築、運用しています。

また、環境方針を制定し、社員に浸透させるとともに各部署が方針に基づいた目標を設定し、環境活動を推進しています。

■ 環境方針

環境方針

1. 事業活動及び製品づくりにおいて、環境に負荷を与える環境側面を常に認識し、環境負荷の低減に向け自主的かつ積極的に環境目標を設定及びレビューし、技術的及び経済的に対応可能な範囲で実施し維持することで、継続的改善を行います。
2. 関連する環境法規及び当社で同意するその他の要求事項を順守し、汚染の予防を図り、環境保全の向上を行います。
3. 環境に配慮した製品づくりを行います。
省エネ機器の導入、室内空気汚染物質の低減、リデュース・リユース・リサイクルの推進、グリーン調達等の積極的な活動と促進を行い、環境への負荷が少なく安全に配慮した製品づくりを行います。
4. 事業活動中での環境負荷の低減を行います。
CO₂排出量・廃棄物の削減、省資源活動の推進を行い、常に環境にやさしい事業活動を行います。
5. 全従業員の環境保全意識の向上を図り実効性の高い環境活動を実践するため、環境教育、環境啓蒙活動を行います。
6. 利害関係者とのコミュニケーションの充実に向け、環境報告書の発信及び地域奉仕活動を行います。環境方針は掲示により、社内での周知徹底を行います。

2017年4月1日

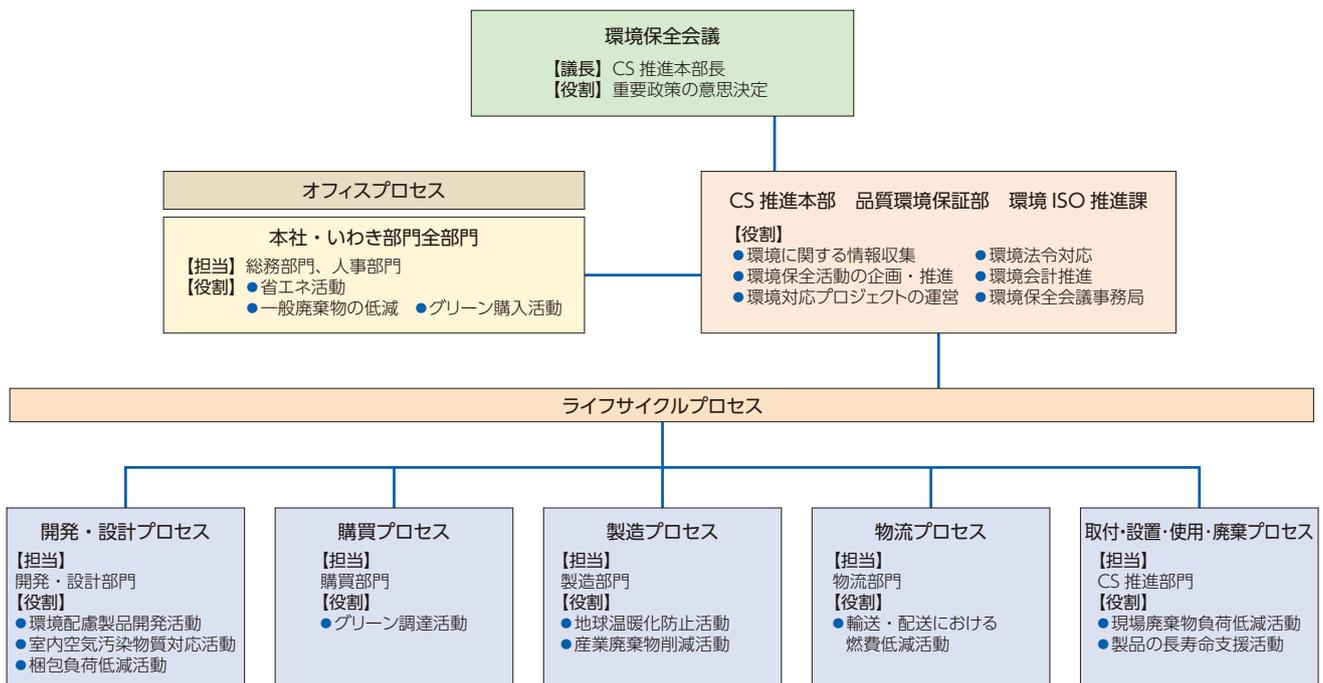
■ 環境保全活動推進体制

クリナップの環境保全活動に対する全社的な意思決定の会議体として、今後の方向性の決定や環境中期計画の進捗状況等を報告・確認する場である「環境保全会議」があります。

2016年度の「環境保全会議」では、幅広いテーマを審議し、「事業活動中での環境負荷の低減」や「環境に配慮した製品づくり」

を目的として取り組んできました。

今後も地球温暖化対策をはじめとする地球環境問題への対応や、環境に配慮した製品づくり、廃棄物の削減やリサイクル化を進め循環型企業を目指す等、環境活動を通じ社会に貢献していきたいと思っております。



環境報告

環境活動(1)

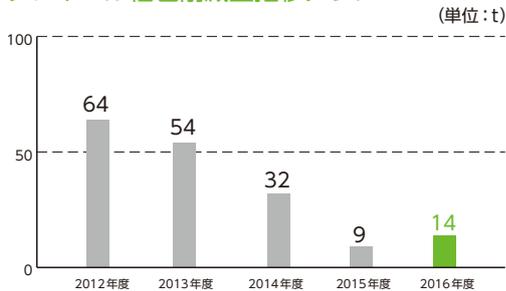
■ 省資源・リサイクルへの取り組み
「リターナブル梱包」

システムキッチンのワークトップ梱包によく使われるのは段ボールで使い捨てです。しかしクリナップは、取付・設置現場での廃棄物対策として、製品納入後に回収し、何度でも繰り返して使えるように設計されたリターナブル梱包を積極的に使い、段ボール梱包削減に取り組んできました。

ハウスメーカー向けワークトップ用リターナブル梱包の全国展開を行った2003年度には段ボール梱包削減量32トン、クリナップの販売ルート現場への導入を行って東日本地区への展開を完了した2004年度に38トン、全国展開を完了した2005年度に95トン、そして2007年には190トンの削減を実現しました。

ただその後の削減量は減少していき、2015年度は9トンになりました。その原因はリターナブル梱包が新製品の形状に適應できなくなったことです。そこで新タイプのリターナブル梱包の開発を行い、導入しました。その結果、順調にダンボール梱包削減量が増えてきています。

ダンボール梱包削減量推移グラフ



■ 新リターナブル梱包の開発と運用

新リターナブル梱包は2015年8月から設計を行い、4回の試作品製作、現場でのテストを経て完成しました。

開発でもっとも重視したのは品質です。輸送試験、落下試験を繰り返し、商品に異常がないか確認しました。

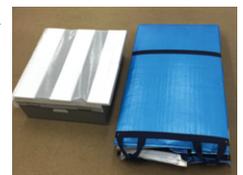
また、工場での作業性についても、これまで面ファスナーで組立てていましたが、それをなくし、セットする時間を大幅に短縮しました。

新リターナブル梱包の運用を開始したのは2016年11月。この段階では月に200台のペースでしたが、2017年6月には1000台を超え、新リターナブル梱包の運用は順調です。

出荷時のリターナブル梱包



回収時のリターナブル梱包



回収したリターナブル梱包は清掃して再出荷



生産本部
湯本工場
生産管理課長
末永 勝久

開発では全寸法への対応を止めて、8～9割のみへの対応

新リターナブル梱包の開発では、対象とするワークトップの寸法を絞り込みました。ワークトップの間口寸法は1800mmから3000mmまであります。旧リターナブル梱包はこのすべての寸法に対応しようとしていたのですが、実際の注文では1800とか3000は1割もありません。2400～2700mmの寸法が8～9割を占めます。

そこで新リターナブル梱包では、1割未満への対応を止め、8～9割のみへの対応にしました。そうすることで作業がシンプルになり、面ファスナー無しという方式も寄与して大きな成果に結びついたのでした。

環境報告

環境活動(2)

■ 協同配送で約340トン/年というCO₂排出量削減効果

クリナップは物流分野の環境負荷を低減させるためにグリーン物流に取り組んできました。その成果のひとつが、経済産業省・国土交通省の「2015年度 グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰」の「経済産業省 商務流通保安審議官賞」を受賞したクリナップとTOTO株式会社の協同配送です。

この協同配送は2015年12月にスタートし、約340トン/年というCO₂排出量削減効果を上げています。

■ LED照明導入で使用電力は減少し
明るさアップ

湯本工場では積極的に製造ラインにLED照明を導入してきており、2017年度には1200トンプレス棟の水銀灯300W×32台を115W×32台のLED照明に切り替えました。この切り替えにより、電力の削減率は66%の効果を得ました。

電力量で言えば、1872KWhが643KWhになり、CO₂換算では465kg/月の削減に相当します。

使用電力が減少する一方で、明るさは上がりました。水銀灯の明るさは50～70ルクスでしたが、LED照明では200ルクス以上と3倍の明るさになり、作業がやりやすくなったのです。



1200トンプレス棟
LED照明

■ コンプレッサーをインバータ式に交換し、
効率アップを確認

湯本工場では2016年4月に75kW出力のコンプレッサーをインバータ式に切り替えました。インバータ式の導入効果を2017年4月に検証したところ、50%の効率アップが確認されました。

そこで2018年にもう1台の75kW出力のコンプレッサーもインバータ式に切り替えることを検討しています。



インバータ制御
コンプレッサー

疑問を一つひとつ解きながら省エネ導入施策に取り組む

LED照明への切り替えのメリットは、省エネだけでなく、交換などのメンテナンスが少なくなることも大きいと思います。

湯本工場ではコンプレッサーのインバータ化にも取り組んでいます。疑問を一つひとつ解きながら進めています。たとえば工場のコンプレッサーは定常出力が続き、出力が大きく変わることは少ないのです。ところがインバータ式は出力変動が多いときに有効とされています。

今回のインバータ式導入で、定常出力が多い工場のコンプレッサーでも効率アップが確認できたことはこれからの導入施策にとっても役立つと思います。



生産本部
湯本工場
製造技術課
主任
永井 公教

環境報告

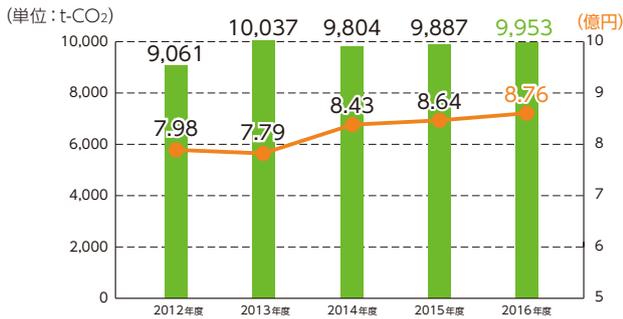
環境負荷の低減

クリナップのCO₂排出量と原単位推移

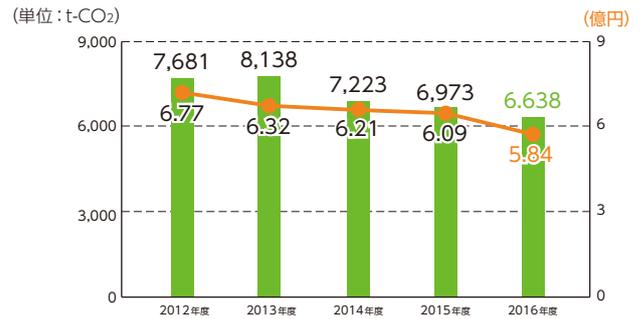
2016年度の結果は、2015年度と比較しますとCO₂排出量は電気が総量、原単位とも増加し、燃料は総量、原単位とも減少しています。

これは生産体制の東西二極化により、輸送距離が減少した効果によるものです。

電気使用に伴うCO₂排出量と原単位推移グラフ **!**
t-CO₂ / 売上高



燃料使用に伴うCO₂排出量と原単位推移グラフ
t-CO₂ / 売上高



! 電気のCO₂排出係数は年度活動効果を見るため0.378kg-CO₂/kWhを使用しています。

ゼロエミッション※1への取り組み

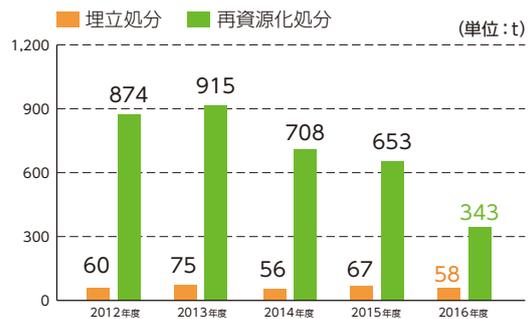
クリナップの製造プロセスで発生する産業廃棄物は93%が木くず、5%が廃プラスチック類、残りの2%はその他が占めています。ゼロエミッションへの取り組みによって、現在の再資源化率は

98%を達成していますが、今後も再資源化率が向上するよう努力してまいります。

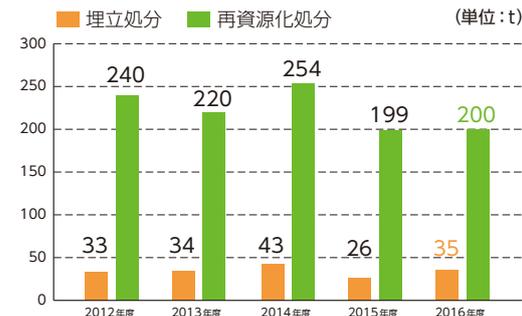
木くずの再資源化処理推移グラフ



廃プラスチックの再資源化処理推移グラフ



その他の廃棄物※2の再資源化処理推移グラフ



※1 ゼロエミッションとは、環境負荷を低減するために廃棄物(emission)を再資源率 99%以上にする事としています。

※2 その他の廃棄物とは、ガラス・陶磁器くず、金属混合物、廃油、汚泥等です。

※3 各処分量は、マニフェストより算出しています。

2016 トピックス

▶2016年10月

洗面ボール「流レールボール」が、2016年度グッドデザイン賞を受賞

2016年2月に発売した、新発想の洗面ボール「流レールボール」が、2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。受賞理由は、ボールに残る汚れの原因を究明し、水流で改善し汚れにくい形状を提案したこと。従来の洗面は吐水口から出た水が、排水口からそのまま排出されてしまうため、汚れの付きやすい部分には水流が回っていなかったことが汚れを蓄積させていました。毎日使う洗面台を、使用時の水流自体できれいにするという発想の転換から「流レールボール」が生まれました。



GOOD DESIGN AWARD 2016
洗面化粧台「S」「ファンシオ」に標準搭載しています

▶2016年11月

未来型コンセプトキッチン日本初公開！『DAIDOCORO2016』に注目集まる

2016年4月に開催された世界最大級の家具見本市「ミラノサローネ 2016」同時開催の「ミラノ・デザインウィーク」で発表したのが、未来型のコンセプトキッチン『DAIDOCORO2016』です。この未来型キッチンを実験室・シンポジウム（東京・六本木）で初めて展示・公開しました。

11月1日～6日の展示期間には多数の方々が訪れ、「家族の笑顔を創ります」を企業理念に掲げるクリナップの新しい提案をじっくりとお楽しみいただきました。



DAIDOCORO 2016

▶2016年12月

水で濡れても足が滑りにくい「足ピタ」パターンがIAUDアワード2016を受賞

一般財団法人 国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD) は、「ユニヴァーサルデザイン (UD) の更なる普及と実現を通して、社会の健全な発展に貢献し、人類全体の福祉向上に寄与すること」を基本理念として活動する団体です。

クリナップの“水で濡れても足が滑りにくい「足ピタ」パターン”が、浴室での転倒の危険を大幅に軽減し、安心感・安全感をもたらしたとしてIAUDアワード2016に選ばれ、表彰されました。

「足ピタ」パターンを採用した浴室フロア



▶2017年1月

プロ400名が選んだおすすめのキッチンランキング2016 クリナップが3冠達成！

リフォーム産業新聞は、システムキッチンを高級価格帯（約40万～180万）、中級価格帯（約30万～140万円）、普及価格帯（約20万～100万円）の3つに分け、毎年リフォーム営業マン・プランナーへ調査を実施して発表しています。このキッチンランキングで、クリナップはいずれの価格帯でも選ばれ、リフォーム大賞3冠を達成しました。

システムキッチン
高級価格帯で選ばれた「S.S.」



ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトの「CSR活動」では、ステークホルダーの皆さまが関心をお持ちの詳細な情報を掲載した社会・環境報告書のweb pdf版をご覧ください。

https://cleanup.jp/life_cycle/

クリナップ株式会社

ホームページアドレス
<http://cleanup.jp/>

問い合わせ先 CS推進本部 品質環境保証部 環境ISO推進課
TEL.0246(34)0216 FAX.0264(34)7607
Eメール grp.kanky@cleanup.jp



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に使われます。

